

SDGs(エスディーゼズ)と私たち

～目標を掲げるだけにとどまらず、地道な行動の継続を～
No one will be left behind(誰一人取り残さない)を理念として

毎月11日は「人権を確かめあう日」です

最近よく目にしたり耳にするSDGs。「聞いたことがある」「詳しくないけど知っている」という方が増えたのではないのでしょうか。これは、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものです。そして私たちの生活とも密接に関わっています。

「世界のことなんでしょ？直接私たちに関係あるの？」

「スケールが大きすぎて、何をすればいいかわからない・・・」

こんな声が聞こえてきそうです。ここでSDGsの17の目標を紹介します。

17の目標

- | | | |
|-----------------|----------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を |
| 4 質の高い教育をみんなに | | 5 ジェンダー平等を実現しよう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | | 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに |
| 8 働きがいも経済成長も | | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 10 人や国の不平等をなくそう | | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 12 つくる責任 つかう責任 | | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 14 海の豊かさを守ろう | | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 16 平和と公正をすべての人に | | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |

では、私たちにできることって何でしょうか？例えば ○水や電気を大切に使う ○食品ロスをなくす ○ゴミをきちんと分別する ○マイバッグで買い物 ○環境に優しい取組をしている企業の製品を買う ○性別に関係なく率先して家事をする ○社会問題に関心を持つ 等々。SDGs は、決して難しく考えることではなく、私たちの身の周りで人や環境にやさしい取り組みを行うことと言えるのかもしれませんが。そしてこれは、今の自分たちだけではなく、自分たちの子孫が幸せに暮らしていくためにも必要なことです。

今、私たちにできることを考え、行動し、生活に浸透させていくこと、そのためには自分たちの生活を見直し、意識を変革させていくことが求められます。「自分さえよければ」の気持ちを自分以外の人や未来に目を向け、思いやることで、少しずつではあってもよりよい世界に近づいていくのではないのでしょうか。

人と地球の未来のために。

2021.09

宇陀市人権啓発活動推進本部

※このビラへのご意見・ご感想は

☎0745-82-2147または jinken@city.uda.lg.jp

